

2021年12月23日（予定）  
千 株式会社

## 【年賀状に関する保護者の実態調査】

**8割の保護者がハガキの年賀状を送付。年賀状、保護者需要は高い結果に。**

**送る理由1位「子どもの成長を伝えられる機会になる」**

～年賀状作成は半数以上がアプリを使用、理由は「手軽・簡単」～

「こどもにピース」をモットーに、テクノロジーの力で園・学校と保護者の子育て環境を豊かにする保育テックサービスを提供する千株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 千葉伸明、以下当社)は、未就学児、園・学校に通う子どもを持つ親164名を対象に「年賀状に関する保護者の実態調査」を実施しました。

調査リリース



年賀状に関する保護者の実態調査

**保護者の8割がハガキの年賀状を送付。  
年賀状、保護者需要は高い結果に。**

～ 送る理由1位「子どもの成長を伝えられる機会になる」～



調査の結果、2022年の年賀状を送付するか聞いたところ、「ハガキで送る（68.90%）」「ハガキとデータの両方で送る（15.85%）」合わせて84.76%で、保護者の8割以上がハガキで年賀状を送付する予定であることが分かりました。

また、年賀状を送ると答えた人に年賀状を送る理由を聞いたところ、「子どもの成長を伝えられる機会になる（68.75%）」が一番多く、「疎遠になっている人と気軽に連絡をとれる（55.56%）」「正月らしさを感じられる（45.14%）」が続く結果となりました。

さらに、年賀状にどんな写真を使うかを質問したところ、「子どもの写真を使う（81.94%）」が8割を超え一番多く、次いで「親子の写真を使う（36.81%）」「夫婦の写真を使う（1.39%）」が続き、子どもの存在が年賀状を送る一番の理由になっていることが分かる結果となりました。

続いて、年賀状の作成方法を質問したところ、「アプリケーション（56.94%）」が一番多く、「ウェブサービス（29.86%）」「年賀状購入ソフト（13.89%）」「実店舗（6.94%）」が続く結果となりました。さらに、回答したサービスを選ぶ理由を聞いたところ、「手軽・簡単（80.56%）」が一番多く8割を超え、次いで「24時間いつでも作成できる（54.17%）」「印刷まで行ってくれて楽（35.42%）」「短時間でできる（31.94%）」と続く結果となり、忙しい保護者にとっては、手軽で簡単にできることや、時間の制約がないことがサービスを選ぶ際に重要なポイントになっていることが分かります。

## まとめ

年賀状離れが叫ばれる昨今ですが、8割を超える保護者が年賀状を送っており、子育て世代には年賀状の需要があることが分かる結果となりました。年賀状を送付する保護者のうち、8割が子どもの写真を使用していることから、子を持つ保護者にとっては子どもの成長を伝えられる良い機会となっていることが分かります。今回の結果から、子どもの有無で年賀状の活用率に違いが出そうなことが予測でき、今後、ハガキでの年賀状送付については子育て世代に向けた、より子どもの成長を伝えられるサービスの需要が高まりそうです。

更に、年賀状作成方法については、実店舗で作成している保護者は僅か6.94%で、9割以上が何かしらのデジタルサービスを活用している結果となりました。半数以上が使用しているアプリケーションについては、日本郵便や印刷会社、カメラ用品チェーン企業などをはじめ50種類近くの年賀状作成専用のアプリケーションが確認できます。中でも、子どもの写真を保管・共有できるサービスとして保護者の中で認知のあるアプリケーションを配信する企業が、保管・共有アプリと連携している年賀状制作アプリケーションを配信しているなど、すでに保護者と接点のある企業は各アプリケーションを連携して機会を逃さない工夫が見られます。

また、保護者が年賀状作成にデジタルサービスを使用する理由としては「手軽・簡単（80.56%）」「24時間いつでも作成できる（54.17%）」が半数を超えています。忙しい保護者にとっては、手軽さや時間の制約がないことがサービスを選ぶ決め手となる傾向にあることから、各アプリの連携により短時間で簡単に年賀状が作成できることは利点になっていると考えられ、今後も保護者の需要をうまく汲み取ったサービスが選ばれていくのではないのでしょうか。

## 調査結果のトピックス

1. 保護者の8割がハガキで年賀状を送付、送付枚数は50枚以下が75%
2. 年賀状を送る理由1位は「子どもの成長を伝えられる機会になるから」、年賀状作成に8割が子どもの写真を使用
3. 年賀状作成は半数以上がアプリを使用、理由は「手軽・簡単」

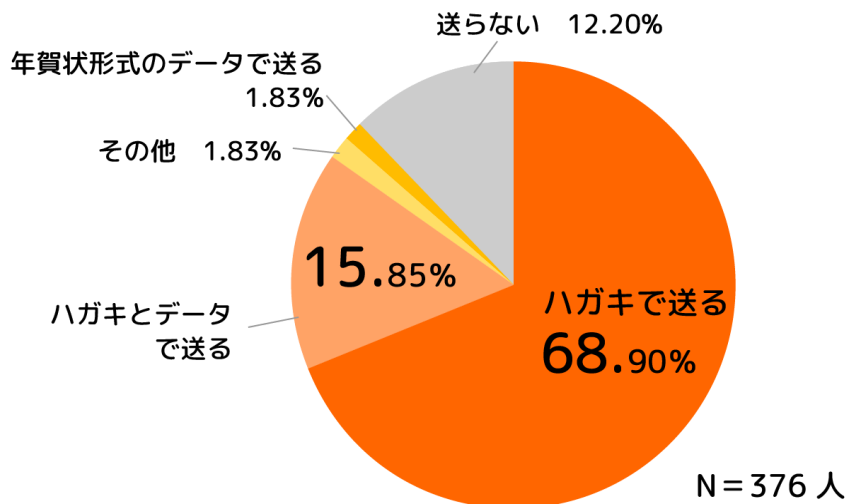
## 調査結果トピックス詳細

### 1. 保護者の8割がハガキで年賀状を送付、送付枚数は50枚以下が75%

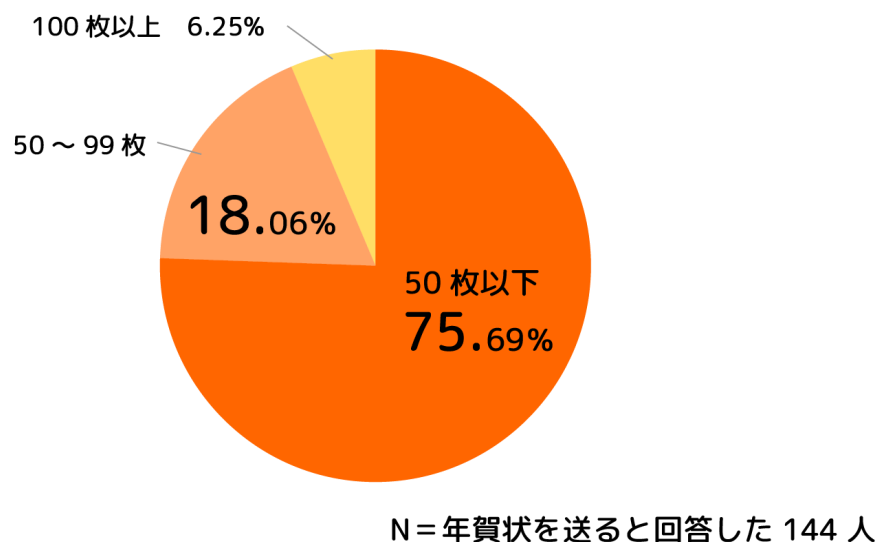
2022年の年賀状を送付するかを聞いたところ、「ハガキで送る（68.90%）」「ハガキとデータの両方で送る（15.85%）」合わせて84.76%で、保護者の8割以上がハガキで年賀状を送付する予定であることが分かりました。

また、年賀状を送ると答えた人に送付枚数を聞いたところ「50枚以下（75.69%）」「50～99枚（18.06%）」「100～199枚（6.25%）」という結果となり、枚数は少なくとも保護者はハガキで年賀状を送付する傾向にあるようです。

**Q. 2022 年の年賀状はどのような方法で送る予定ですか？**



**Q. 年賀状は何枚（何通）送る予定ですか？**



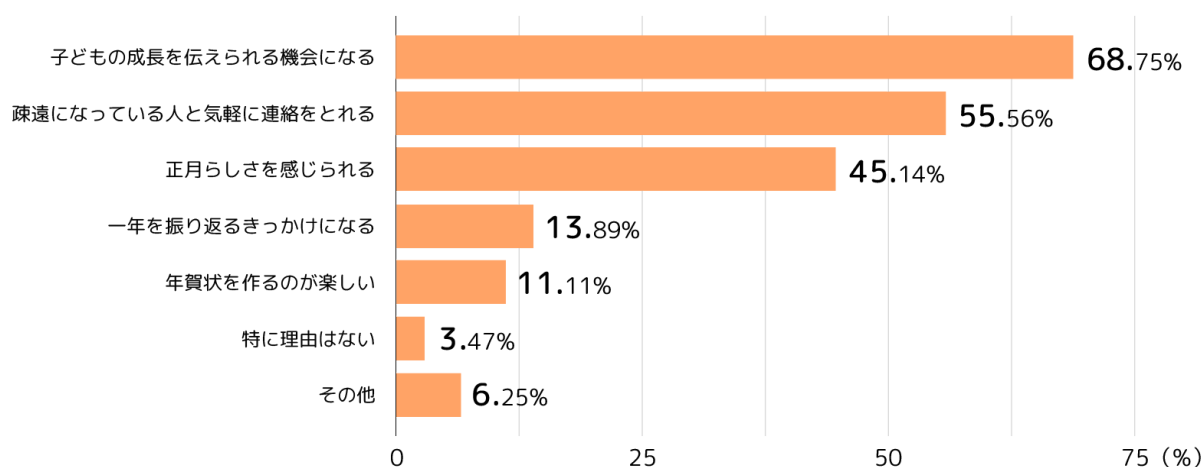
**2. 年賀状を送る理由1位は「子どもの成長を伝えられる機会になるから」、年賀状作成に8割が子どもの写真を使用**

年賀状を送ると答えた人に、年賀状を送る理由を聞いたところ、「子どもの成長を伝えられる機会になる（68.75%）」が一番多く、「疎遠になっている人と気軽に連絡をとれる（55.56%）」「正月らしさを感じられる（45.14%）」が続く結果となりました。

また、年賀状にどんな写真を使うかを質問したところ、「子どもの写真を使う（81.94%）」が一番多く、次いで「親子の写真を使う（36.81%）」「夫婦の写真を使う（1.39%）」が続きました。年賀状を送る理由として「子どもの成長を伝えられる機会になる」が一番多く、年賀状を送る保護者の8割以上が子どもの写真を使っていることから、子どもの存在が年賀状を送る一番の理由になっていると分かる結果となりました。

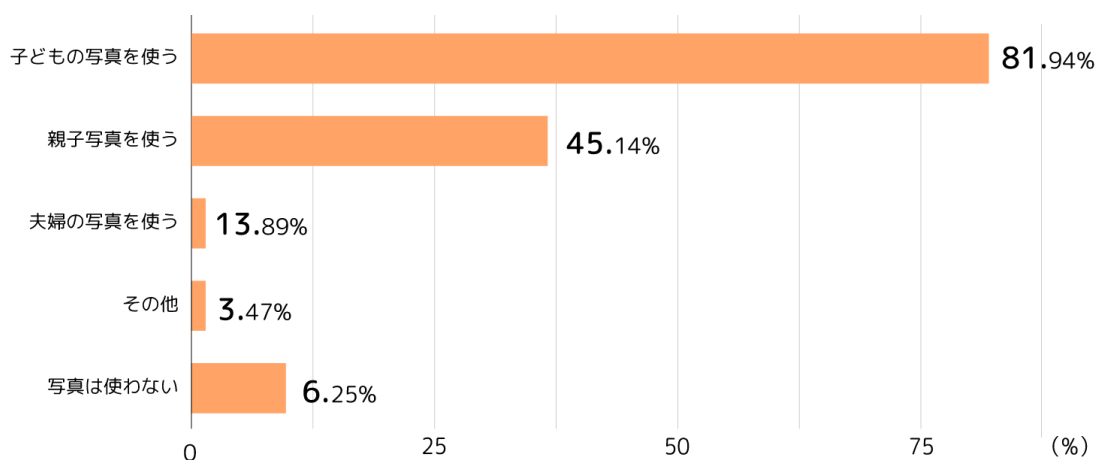
さらに、年賀状に写真を使うと回答した人に、使う写真をどのように準備したかを聞くと、「1年の中で撮影した写真を使う（74.81%）」が一番多く、保護者の多くが既に撮影している写真を使う傾向にあるようです。

## Q. 年賀状を送る理由を教えてください。（複数回答可）



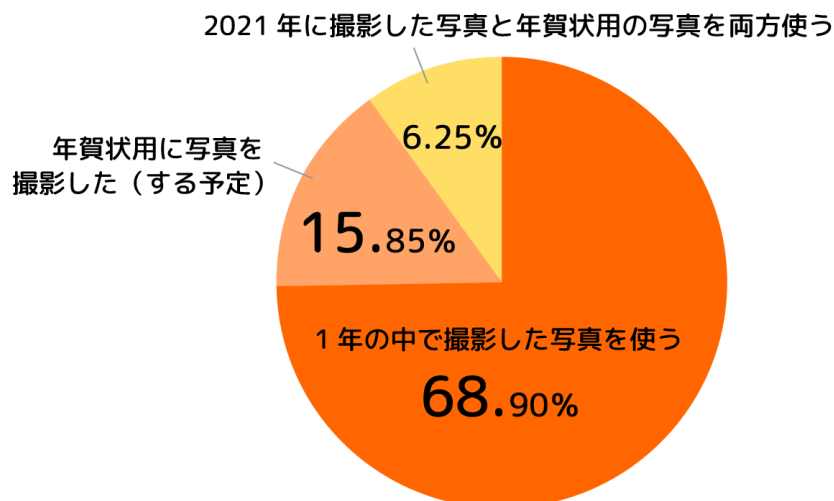
N = 年賀状を送ると回答した 144 人

## Q. 年賀状で使用する写真について教えてください（複数回答可）



N = 年賀状を送ると回答した 144 人

## Q. 年賀状で使う写真をどのように準備しましたか？



N = 年賀状で写真を使用すると回答した 131 人

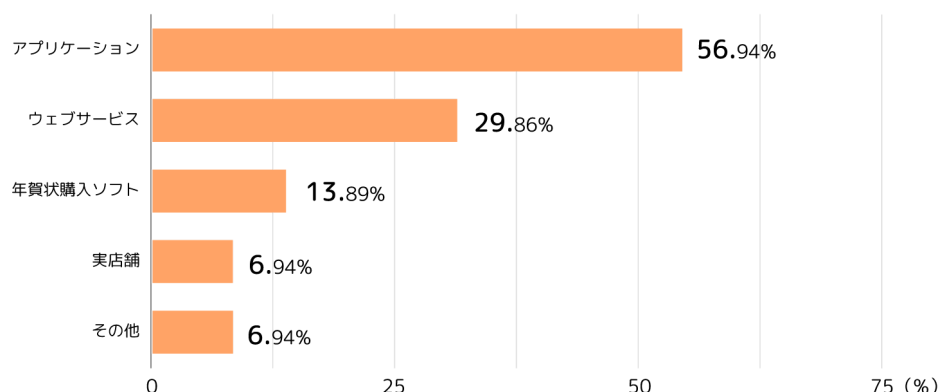
### 3. 年賀状作成は半数以上がアプリを使用、理由は「手軽・簡単」

年賀状を送ると回答した人に、年賀状の作成方法を質問したところ、「アプリケーション（56.94%）」が一番多く、「ウェブサービス（29.86%）」「年賀状購入ソフト（13.89%）」が続く結果となりました。実店舗で作成している保護者は僅か6.94%で、9割以上が何かしらのデジタルサービスを活用していることが明らかになりました。

さらに、回答したサービスを選ぶ理由を聞いたところ、「手軽・簡単（80.56%）」が一番多く8割を超え、次いで「24時間いつでも作成できる（54.17%）」「印刷まで行ってくれて楽（35.42%）」「短時間でできる（31.94%）」と続く結果となり、忙しい保護者は、手軽で簡単にできることや、時間の制約がないことがサービスを選ぶ決め手となる傾向にあるようです。

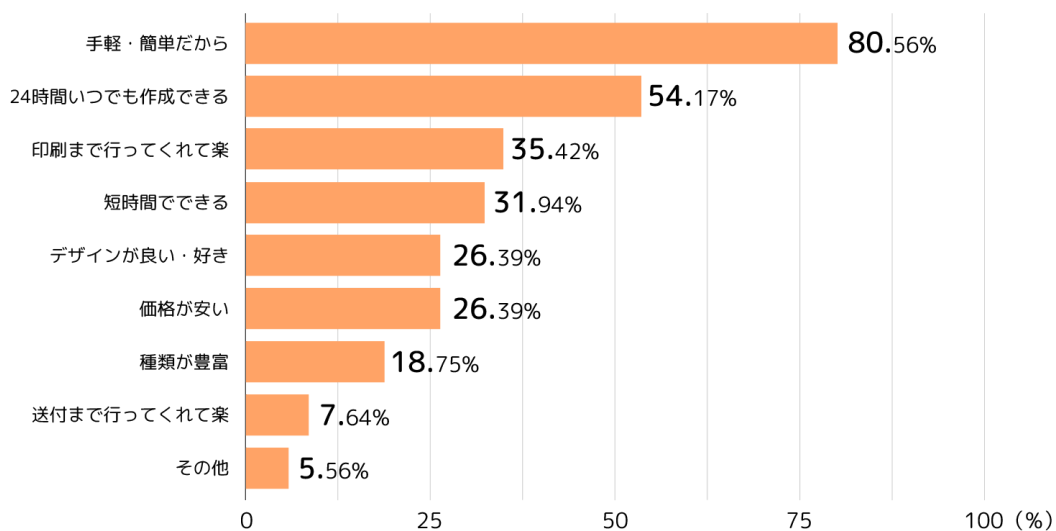
また、「アプリケーション」を使って年賀状を作る人に絞ってサービスを選ぶ理由をみると、約9割が「手軽・簡単」を選択しており、アプリケーションのサービスを特に手軽で簡単だと感じる人が多い傾向にあるようです。

## Q. 年賀状をどのように作るか教えてください（複数回答可）



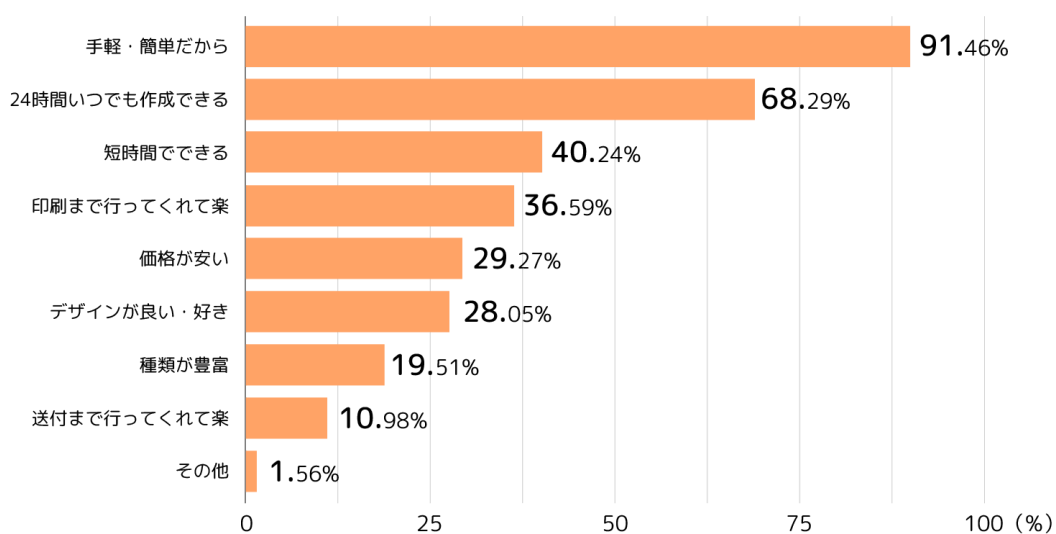
N = 年賀状を送ると回答した 144 人

## Q. 上記回答の方法を選ぶ理由を教えてください（複数回答可）



N = 年賀状を送ると回答した 144 人

## 【年賀状作成にアプリケーションを選ぶ理由（複数回答可）】



N = アプリケーションを使って年賀状を作ると回答した 82 人

### ■調査概要

- ・調査テーマ：年賀状に関する保護者の実態調査
  - ・調査方法：WEBアンケート調査
  - ・調査対象者：未就学児・園・学校に通う子どもを持つ親 164名
  - ・調査実施日：2021年11月25日～12月14日
  - ・調査主体：千株株式会社
-

## 【「はいチーズ！」とは】

「はいチーズ！（<https://sencorp.co.jp/service/>）」は『こどもにピース』をモットーに、保育園・幼稚園など子どもを預かる施設や保護者とともに子どもの幸せを育むことを目指す、総合保育テックサービスです。

インターネット写真販売「はいチーズ！フォト」、保育ICT「はいチーズ！システム」、給食・食育サービス「はいチーズ！×ベジリンク」、アルバム制作「はいチーズ！アルバム」、動画配信「はいチーズ！ムービー」などさまざまな保育支援サービスを提供しています。現在では、10,000団体以上の園データ、270万人以上のユーザーデータ、1億枚以上の子ども画像データを保有する日本最大級の保育サービスです。

## 【会社概要】

千株式会社

代表取締役社長：千葉伸明

本社：東京都千代田区大手町一丁目3番2号 経団連会館13F

設立：2004年10月

TEL：03-6266-6662

HP：<https://sencorp.co.jp>

事業内容：SaaS型総合保育テックサービス「はいチーズ！」事業

- ・インターネット写真販売サービス「はいチーズ！フォト」（<https://info.8122.jp>）
  - カメラマン撮影プラン
  - 先生撮影プラン
  - 写真館撮影プラン
- ・保育業務ICTサービス「はいチーズ！システム」（<https://hoiku-ict.com>）
- ・給食食育サービス「はいチーズ！×ベジリンク」（<https://vege-link.com/shokuiku/>）
- ・アルバム制作サービス「はいチーズ！アルバム」（<https://album.8122.jp>）
- ・動画サービス「はいチーズ！ムービー」（<https://enchannel.jp>）
  - 動画配信プラットフォーム
  - イベント動画撮影
  - PR動画制作・編集

「はいチーズ！」は、千株式会社の登録商標です。

---

## 【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

千株式会社 社長室 広報グループ：楠本彩香（くすもとさやか）、山口春世（やまぐちはるよ）

TEL：03-6266-6662 / 携帯電話:090-5496-8413 / E-mail:[sen\\_pr@sencorp.co.jp](mailto:sen_pr@sencorp.co.jp)

---